

大阪府立大学人間社会学部「文学とジェンダー」共同研究プロジェクト

ミニシンポジウム開催のお知らせ

日米文学における女性

日時:2011年11月11日(金)

午後1時30分～午後5時

場所:A15棟130教室

1時30分～2時30分

平安時代文学のなかの女性

青木賜鶴子

平安時代文学に描かれた女性を取り上げ、『源氏物語』に影響を与えた『伊勢物語』などを読みながら、どのような女性が理想とされたのか、それほどの理由によるのか、といった事柄について考えます。



2時40分～3時40分

アメリカ南部文学のなかの女性 滝野哲郎

南北戦争まえのアメリカ南部において、女性が文学のなかでどのように描かれていたかについて見ていきます。当時の南部には、白人男性の農園主が奴隷労働力を用いて綿花を栽培する大規模な農園（プランテーション）が多数ありました。今回は、そういった大農園のなかで生活する女性について小説・自伝・日記を通して考えます。



女主人と奴隷の子どもたち

4時～5時

自由討論

※参加は無料ですが、資料配付などの都合上、事前にメールまたは葉書で下記までご連絡下さい。

企画・実施担当：大阪府立大学人間社会学部 村田京子

bal@hs.osakafu-u.ac.jp

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号

072-254-9612 (ダイヤル・イン)